

# ワールド・ビジョン・ジャパン 「アドボカシー意識調査」の結果概要

2018年8月

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

## ○ 調査の目的

### 1. アドボカシー活動効果の定量的な測定

国会議員へのワールド・ビジョン・ジャパン（以下 WVJ）のアドボカシーの影響力・認知度・子どもの保健に関する理解の浸透状況を定量的に定点調査する。

### 2. 関係構築

WVJ の活動への理解を深め、今後のアドボカシーへのヒントを得る。

## ○ 調査方法

対 象： 衆参全議員 707 人（衆議院 465 人・参議院 242 人）

方 法： 調査票記入による自由回答

調査期間： 2018年6月6日～7月25日

## ○ 調査結果

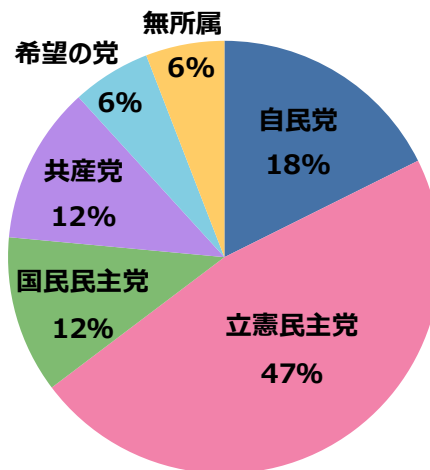
有効回収： 17 人（2.4%）

## ○ 調査項目

1. WVJ の認知度
2. WVJ のアドボカシーの認知度
3. WVJ のアドボカシーの重要課題への関心度
4. WVJ からの政策提言の有無
5. WVJ から政策提言を受けた分野
6. WVJ からの政策提言による影響
7. SDGs の認知度
8. SDGs において日本政府が注力すべき ODA 分野
9. SDGs において日本政府が日本国内で注力すべき分野
10. SDGs において議員自身が取り組みたいこと
11. WVJ との協力関係

○ 政党別内訳

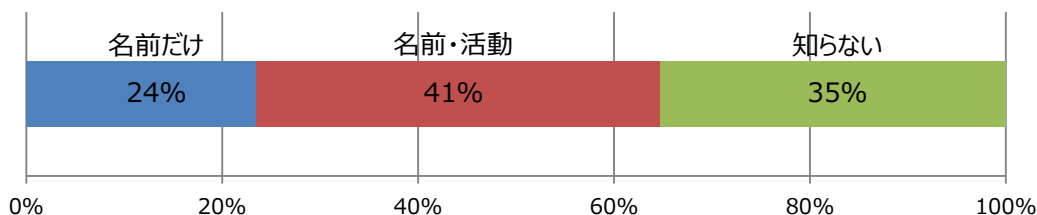
政党名	回答数
自民党	3
立憲民主党	8
国民民主党	2
共産党	2
希望の党	1
無所属	1



質問 1. あなたは、途上国の子どもたちを支援している国際 NGO「ワールド・ビジョン・ジャパン」(以下 WVJ) についてご存知ですか？

- ① 名前だけ知っている 4人 (24%)
- ② 名前も活動も知っている 7人 (41%)
- ③ 知らない 6人 (35%)

【傾向】 回答者の 4 割超が「WVJ の名前も活動も知っている」と答えた。

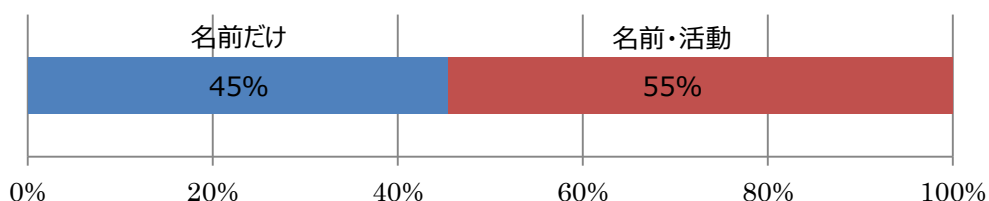


質問 2. 質問 1 に①または②と回答された方のみ ⇒

WVJ のアドボカシー (市民社会や政府への働きかけを通じて不公正な社会を変革すること) についてご存知ですか？ (複数回答可)

- ① 名前だけ知っている 5人 (45%)
- ② 名前も活動も知っている 6人 (55%)
- ③ 知らない 0人 (0%)

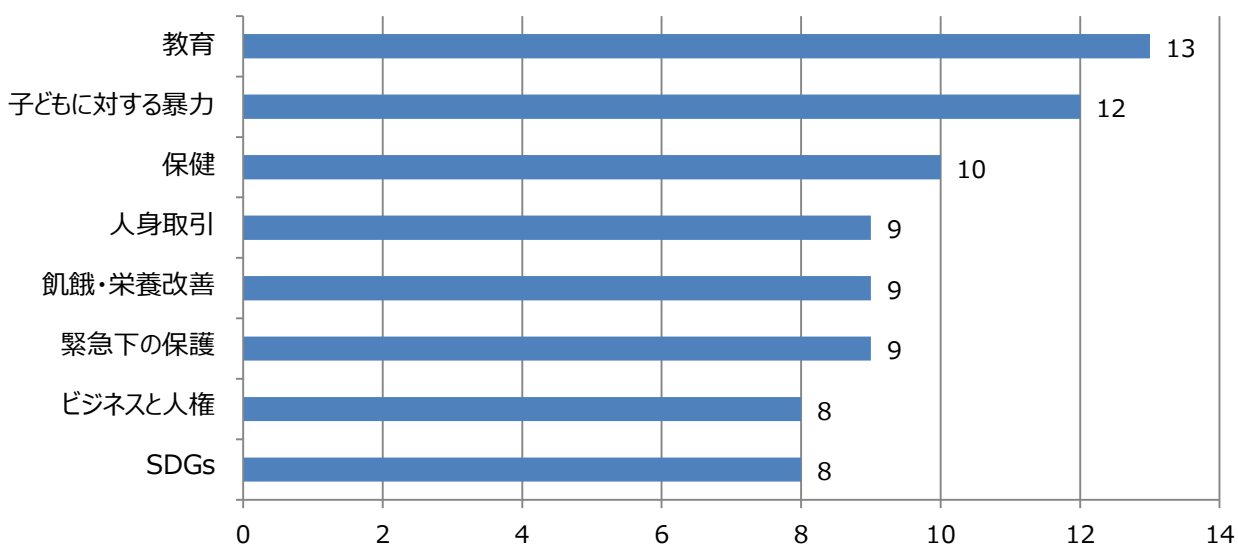
【傾向】 WVJ のことを知っている回答者は全員、WVJ のアドボカシーについても「知っている」と回答した。



**質問 3. WVJ が重要課題として掲げている以下のうち、ご自身が関心のある分野はありますか？（複数回答可）**

① 教育	13 人	(11 人)
② 子どもに対する暴力	12 人	(4 人)
③ 保健	10 人	(7 人)
④ 人身取引	9 人	(7 人)
⑤ 飢餓・栄養改善	9 人	(6 人)
⑥ 緊急人道支援下における子どもの保護	9 人	(6 人)
⑦ 児童労働・企業活動と人権	8 人	(4 人)
⑧ 持続可能な開発目標（SDGs）	8 人	(9 人)

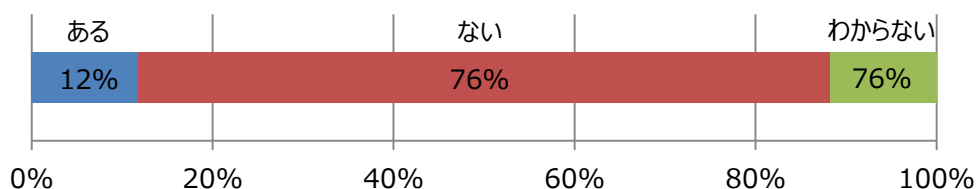
【傾向】 WVJ のアドボカシーにおける 8 つの重要課題のうち、「教育」には回答者の 8 割近くが「関心がある」と答えた。前回 2017 年調査時（上記カッコ数値）より、ほぼすべての課題について「関心がある」との回答が増え、特に「子どもに対する暴力」に関心があるとの回答が 3 倍に増えた（4 人→12 人）。いずれのテーマにも関心がない回答者は 0 名であった。



**質問 4. WVJ から政策提言を受けたことがありますか。**

① 受けたことがある	2 人	(12%)
② 受けたことがない	13 人	(76%)
③ わからない	2 人	(12%)

【傾向】 回答者の 8 割近くが、WVJ から政策提言を受けたことがないと回答した。

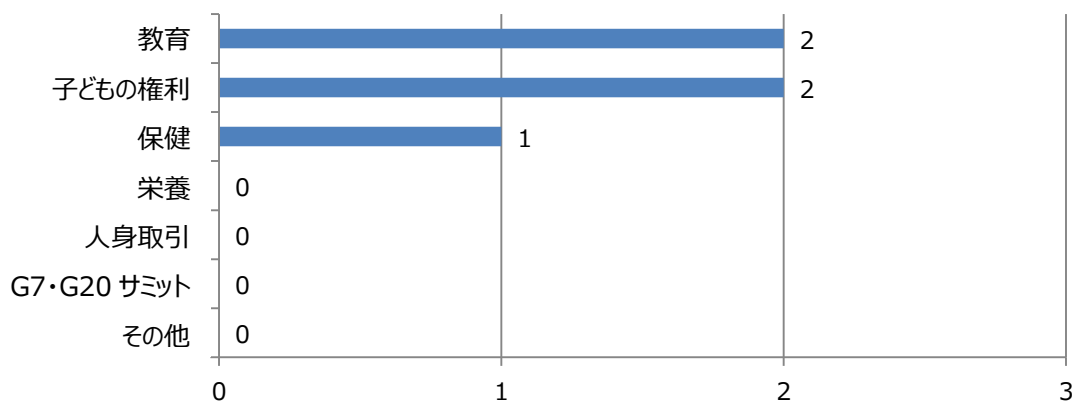


**質問 5. 質問 4 に①と回答された方のみ ⇒ WVJ からどのような分野における提言を受けましたか。**

(複数回答可)

① 教育	2 人
② 子どもの権利	2 人
③ 保健	1 人
④ 栄養	0 人
⑤ 人身取引	0 人
⑥ G7・G20 サミット	0 人
⑦ その他	0 人

【傾向】 回答者 2 名が WVJ から「教育」、「子どもの権利」、「保健」について政策提言を受けたと回答した。

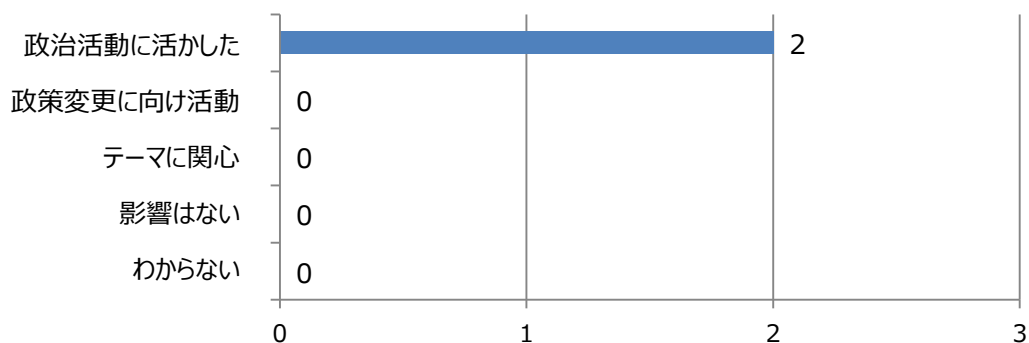


**質問 6. 質問 4 に①と回答された方のみ ⇒**

**WVJ の提言により、ご自身の政治活動が影響を受けたことがありますか。**

① 自身の政治活動に活かした	2 人
② 政策変更に向け政治活動を行った	0 人
③ 提言を受けたテーマに関心を持つようになった	0 人
④ 提言を受けたが影響はない	0 人
⑤ わからない	0 人

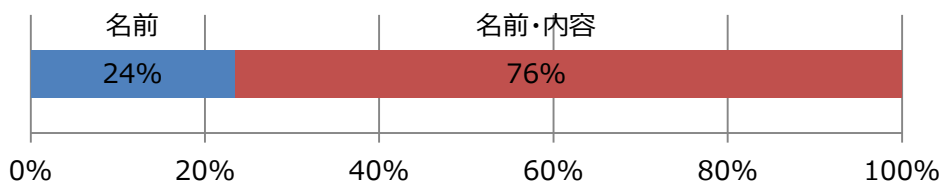
【傾向】 WVJ から政策提言を受けたことがある回答者は 2 名とも、「自身の政治活動に活かした」と答えている。



**質問 7. 2015 年 9 月の国連総会で採択された国際的な開発目標「持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）」についてご存知ですか。**

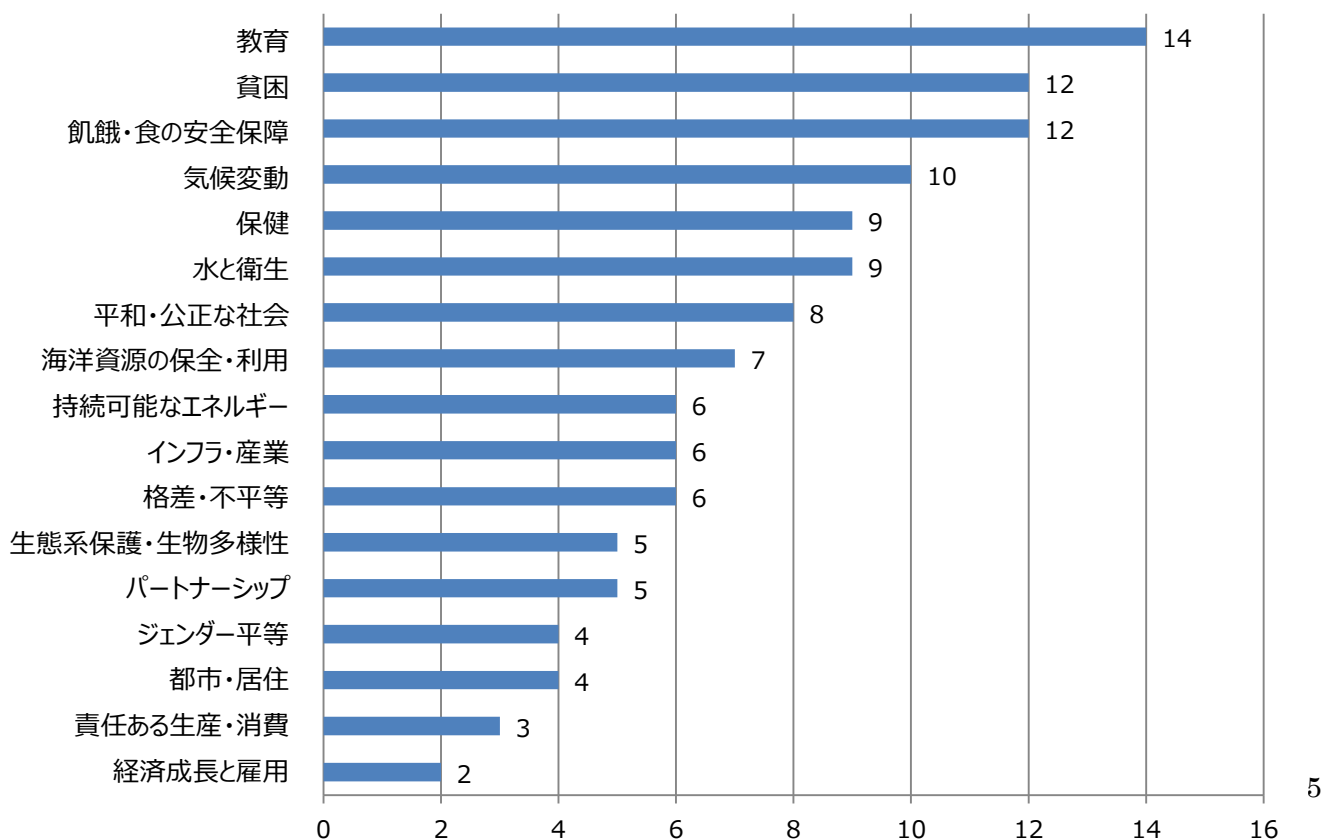
- ① 名前も内容も知っている 13 人 (76%)
- ② 名前だけ知っている 4 人 (24%)
- ③ 知らない 0 人 (0%)

【傾向】 回答者の全員が何らかの形で「SDGs を知っている」と答えた。また、2015 年調査時より、「名前も内容も知っている」とした回答者は、2015 年 5 人、2016 年 7 人、2017 年 11 人と増加傾向にある。



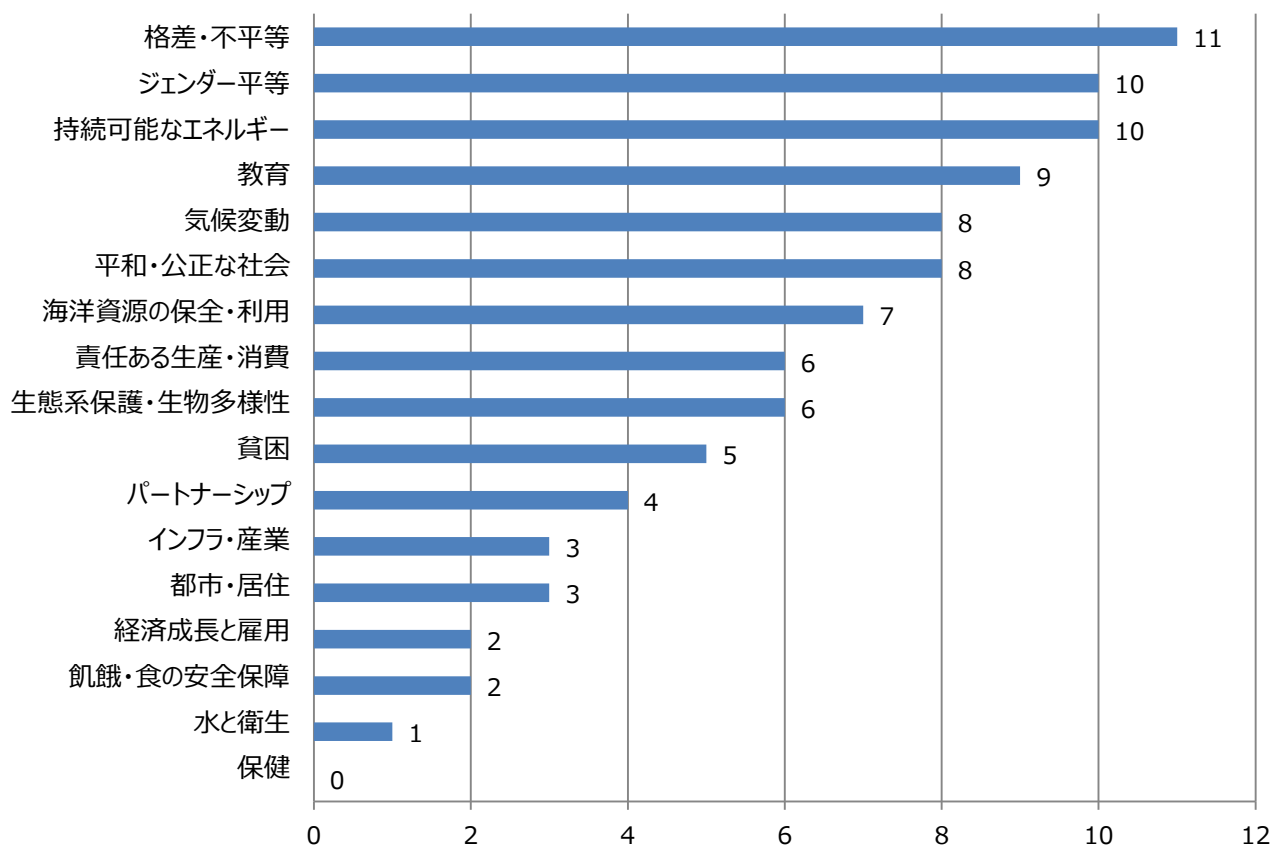
**質問 8. 「SDGs」は、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継となる開発目標で、以下 17 の目標とそれらに付随する 169 ターゲットにより構成されます。SDGs の達成のため、日本政府は ODA 政策において、どの分野に力を入れるべきと考えますか。（複数回答可）**

【傾向】上位から「教育」、「貧困」、「飢餓・食の安全保障」、「気候変動」の順に力を入れるべきとの回答が多かった（2017 年の上位は「教育」、「水と衛生」、「貧困」、「飢餓・食の安全保障」）。例年、「教育」と「貧困」には高い関心が寄せられている。最も回答数の少なかった分野は、「責任ある生産・消費」、「経済成長と雇用」であった（2017 年は「パートナーシップ」、「ジェンダー平等」）。



**質問 9. 「SDGs」は、開発途上国のみならず、先進国も対象となります。SDGs の達成のため、日本政府は日本国内で、どの分野に力を入れるべきと考えますか。(複数回答可)**

【傾向】SDGs の国内実施においては、上位から「格差・不平等」、「ジェンダー平等」、「持続可能なエネルギー」の順に力を入れるべきとの回答が多かった（2017 年の上位は「気候変動」、「格差・不平等」、「教育」）。「力を入れるべき」とした分野数は、国際協力は延べ 122 のところ、国内実施では述べ 95 と、全体的に少なかった。「格差・不平等」は最多となる一方、「貧困」を選ぶ回答者は少なかった（例年の傾向）。



**質問 10. SDGs の実施に向け、ご自身で取り組みを検討されていることがあればお書き下さい。(自由記述)**

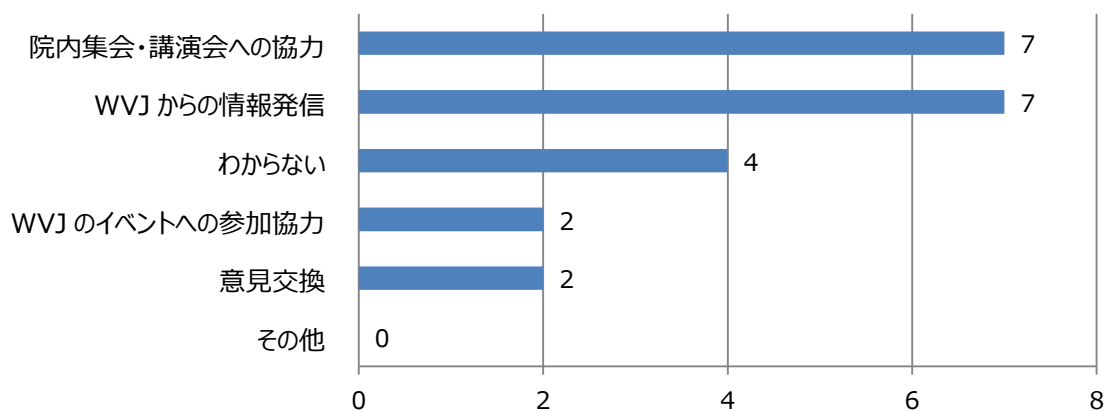
※以下、回答票より抜粋。

- SDGs に関連する議連に参加しています（チャイルドライン、子どもの貧困、WFP など）
- 党に「SDGs プロジェクト・チーム」を設立しました
- 党内でのプロジェクト・チームの立ち上げに関わっています

質問 11. 今後、WVJ との協力を希望されることがあればお知らせ下さい。(複数回答可)

- ① 院内集会・講演会への協力 7 人
- ② 意見交換 2 人
- ③ WVJ からの情報発信 7 人
- ④ WVJ のイベントへの参加協力 2 人
- ⑤ わからない 4 人
- ⑥ その他 0 人

【傾向】 2017 年調査時には、今後の WVJ との協力について「わからない」とした回答者が多かった一方、今回は「院内集会等への協力」や「WVJ からの情報発信を得たい」など、具体的な協力を希望する回答者が目立った。



以上